

2 がん患者等への支援 (1)相談支援及び情報提供

個別施策アウトプット

	県の指標	国の評価指標
①患者・家族満足度調査の実施		
②相談内容等の情報の共有化等により、相談支援センターの質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援センターの利用者数 相談支援センターの認知度 他施設からの利用者の割合 	
③相談支援センター利用者に対する満足度調査の実施	相談支援センターにおける利用者の満足度	拠点病院のがん相談支援センターの利用者満足度
④国立がん研究センターの研修への参加及び拠点病院による相談員の研修会の実施	国立がん研究センター研修を受けた相談員の割合	
⑤相談支援センターの周知、広報		

中間アウトカム

	県の指標	国の評価指標
長期目標を達成するため、体制の整備が進んでいる。	相談支援センターにおける利用者の満足度(3年以内に評価方法を決定し、目標値を設定)	
(1)必要とする最新の情報を正しく提供し、きめ細やかに対応できている。		<ul style="list-style-type: none"> 化学療法レジメンを公開している拠点病院の割合 (A10b) 化学療法患者にジェネリック薬品を使う選択肢を提示している拠点病院の割合(A10c) 納得のいく治療選択ができたがん患者の割合(A18) 妊孕性温存に関する情報が提供された40歳未満のがん患者の割合(A18e) がん患者・家族、市民へ講演会を実施した拠点病院の割合(A32b) 拠点病院の治療実績数を情報提供されている希少がんの数(C3b) 拠点病院のがん相談支援センター利用者満足度(C4d) 拠点病院の初発がん患者のうち必要な治療棟の情報が得られた者の割合 (C5) 拠点病院の初発がん患者のうち受診施設から治療選択に必要な情報が得られた者の割合 (C6) 拠点病院のがん患者の臨床試験の認知度(C11a)
(2)活用しやすい相談支援体制を早期に実現している。		必要な相談の場の準備 (Z13)

分野別最終アウトカム

	県の指標	国の評価指標
全てのがん患者やその家族が、不安や悩み、疑問に対して、いつでも身近なところで、必要な情報を手にいれることができ、その悩みや疑問が軽減している。	患者やその家族の満足度(3年以内に評価方法を決定し、目標値を設定)	<ul style="list-style-type: none"> あなたは、自分らしい日常生活を送れると感じていますか。(Z4) あなたは、自分の生活に見通しが持っていると感じていますか。(Z5) あなたは、ご家族の質も保たれていると感じていますか。(Z15)
(1)患者に必要な情報が提供されている	<指標案> ①相談窓口、情報アクセス手段がある人の割合 ②がん関連情報についての情報が不十分でないと答えた人の割合	
(2)患者の闘病上の不安や悩みが軽減されている		
(3)患者の不安や悩みの発生が押さえられている		

⑥県内の相談支援体制のあり方について検討	県内医療期間の相談窓口体制の整備状況	
⑦ピアサポーターの育成	がんピアサポーター数	
⑧拠点病院等によるサポーターの活動の支援		
⑨患者サロンの周知	患者サロンの認知度(3年以内に目標値を設定) 患者サロンの利用者数	
⑩がんピアサポーターや患者会の活動促進		
⑪ポータルサイト等による県民への情報提供の推進	・がん情報についての認知度 ・県ホームページへのアクセス数	